



No.94

さいばい ニュース

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会
 発行所 〒238-0237
 神奈川県三浦市三崎町
 城ヶ島養老子
 ☎ 046(882)6980
 FAX 046(881)2233

平成24年度収入予算

科目	24年度	23年度
基本財産	9,870	10,640
賛助会費	1,000	1,000
種苗生産	53,970	49,003
種苗斡旋	29,977	32,233
広域資源	3,465	3,530
緊急雇用	0	7,061
負担金	12,992	9,712
遊漁船協力	10,865	11,126
マダイ等協力金	5,000	6,000
雑収入	250	250
収入計	127,889	134,905

平成24年度支出予算

科目	24年度	23年度
マダイ資源増大	20,990	23,780
ヒラメ資源増大	4,919	5,230
栽培推進	2,922	2,966
種苗生産	43,299	42,041
種苗斡旋	23,092	29,081
管理費	22,173	17,134
借入金返済等	10,494	7,375
支出計	127,889	134,905

マダイ・ヒラメ資源増大促進事業

放流場所	マダイ(全長60mm)	ヒラメ(全長60mm)
東京湾海域	250,000	20,000
三浦半島西岸域	250,000	20,000
西湘域	200,000	30,000
合計	700,000	70,000



漁業者の要望の強い
ヒラメ種苗を供給・放流



イベントに協力し
マダイ種苗を放流

当協会の運営は、県補助金の削減及び漁業経営の不振と遊漁者数の減少等から主な収入源である漁業者負担金と遊漁船業者等協力金は減少傾向で種苗供給数も種苗を購入していた財団法人の株式会社や一般法人への移行で、厳しさを増しています。事業の執行については、徹底した経費の見直しを行い、効率的な協会運営に努めます。

今年度もマダイ、アワビ、トコブシ、クロダイ、マコガレイの種苗を生産して、東京湾並びに相模湾へ放流し、漁業協同組合をはじめとする水産団体への供給を行います。さらに、業界から強い要望のあるヒラメなどの種苗の供給も行っていきます。また、栽培漁業と当協会の活動についての理解

マダイ・アワビなどを種苗生産・放流 ヒラメなどの種苗は入手・放流へ

平成二十四年度 事業計画

神奈川県栽培漁業協会は、平成二十四年四月一日から財団法人から公益財団法人に移行しました。平成二十四年三月二十三日に神奈川県公益認定委員会の答申に基づき、公益財団法人としての神奈川県知事の認定許可が出されました。

種苗供給事業

種苗名(サイズmm)	24年度計画(尾)	23年度実績(尾)
ヒラメ (60)	140,000	144,500
メバル (60)	20,000	20,000
カサゴ (60)	130,000	134,000
トラフグ (50)	25,000	24,150
カワハギ (50)	11,000	11,000

種苗生産事業

種苗名(サイズmm)	24年度計画	23年度実績
アワビ (5)	30,000	30,000
アワビ (25)	350,000	389,480
アワビ (30)	75,000	75,700
ササエ (20)	200,000	183,600
トコブシ (15)	150,000	28,000
マダイ (70)	60,000	56,200
クロダイ (60)	90,000	90,000
マコガレイ (40)	16,000	70,500

神奈川県栽培漁業協会経営改善計画案 マダイ種苗生産・放流数変更の考え方

神奈川県におけるマダイ種苗放流目標は、2010年度までは神奈川県栽培漁業基本計画に基づき100万尾としてきた。補助金の中止に伴って、2011年度は30万尾を削減し70万尾にしてきました。

しかし、それでもマダイ種苗生産経費と収入の収支が大きく開いていて、今後、収支相償を図るため、放流数をどのようにしていくか、選択肢を提示します。

提案1

2012年度のマダイ種苗放流数は、2011年度に引き続き70万尾とします。

2013年度以降は、栽培漁業協会の種苗放流事業として、前年度の漁業者・漁業協同組合負担金及び遊漁船協力金の決められた割合をマダイ種苗生産に充てます。

また、前年度のマダイ遊漁者・遊漁船協力金を全額マダイ種苗生産費に充て、これらを合わせた金額相当の尾数を各地区に放流します。

試算では栽培漁業協会の種苗放流事業と

平成25年度以降のマダイ放流計画案

海域/年度	2010	2011	2012	2013(平成25年度)以降
東京湾	350,000	250,000	250,000	*100,000 +前年度マダイ遊漁協力金 +組合等種苗購入分
三浦半島西岸	350,000	250,000	250,000	*100,000+上記に同じ
湘南・西湘	300,000	200,000	200,000	*100,000+上記に同じ
合計	1,000,000	700,000	700,000	*100,000+上記に同じ

2013年度以降、各海域に放流する100,000尾分は、漁業者・業協同組合負担金及び遊漁船協力金による放流分

して12,000千円を基本放流額とします。これは、300,000尾に相当します。

東京湾100,000尾、三浦半島西岸100,000尾、西湘・湘南100,000尾とします。基本財産、漁業者・漁協負担金、遊漁船協力金の額は前年度の実績とします。

また、現在のマダイ釣人・釣船協力金は寄附金額に応じて放流数を変更します。

高いところに逃げることで「す」とアドバイスし、東日本大震災前の宮城県の水産業や宮城県漁協の概要、震災による被害状況、復興基本方針を立てたことを紹介しました。そして「宮城県の漁業者は海に戻りたいという気持ちの日ごとに強まっています。漁業を復興させて安全・安心な魚を供給したい」と結びました。

波対策は「早く、遠く、高いところに逃げることで」とアドバイスし、東日本大震災前の宮城県の水産業や宮城県漁協の概要、震災による被害状況、復興基本方針を立てたことを紹介しました。そして「宮城県の漁業者は海に戻りたいという気持ちの日ごとに強まっています。漁業を復興させて安全・安心な魚を供給したい」と結びました。

公益財団法人の運営は、従来の財団法人と比較すると次の点で異なります。①財団法人の理事、評議員の人数は、書名表決がでなくなりましたので、減らしました。

従来は、県、市町の理事は十五名から七名、十三名、評議員は、二十五名から七名、十三名、監事は三名から二名となります。

③任期は、財団法人では理事、評議員、監事は三年でしたが、公益財団法人では、理事が二年、評議員、監事が四年となります。

④財団法人のときは午後に評議員会を、午後には登記しませんが、公益財団法人では登記します。



潮騒

神奈川県水産振興促進協会は四月二十六日に横浜の中小企業共済会館で「漁業地域における震災対策研修会」を開催しました。関係者65人が出席、水産課漁港グループの小野能康技幹による津波浸水予想図の正しい見方・使い方の説明聞き、JFみやぎの船渡隆平専務の「漁業地域で何が起きたのか、今、何をなすべきか」をテーマの講演(写真)を聴きました。高橋征人会長が「本日の講演を聴き、地元の人に震災対策を伝えてほしい」とあいさつ、小野技幹が津波の伝わり方・大きくなるメカニズム、避難体制の整備について新たな津波浸水予想図を作ったことなどを説明しました。船渡専務は、津波対策は「早く、遠く、高いところに逃げることで」とアドバイスし、東日本大震災前の宮城県の水産業や宮城県漁協の概要、震災による被害状況、復興基本方針を立てたことを紹介しました。そして「宮城県の漁業者は海に戻りたいという気持ちの日ごとに強まっています。漁業を復興させて安全・安心な魚を供給したい」と結びました。

平成二十三年度収支計算書

事業活動収入合計は億三千円余りに

平成二十三年度の財団法人神奈川県栽培漁業協会の決算を収支計算書によって報告します。平成二十三年度の事業活動収入の計は一億三千五百二十六万三千円でした。

その内訳は、基本財産運用収入が一億七千七百四十四万六千円、賛助会員会費が八十四万六千円、アワビの種苗生産やヒラメの種苗生産などの事業が八百二十九万三千円、緊急雇用や太平洋海域栽培漁業推進協議会のヒラメ種苗補助金が一千四百七十九万九千円、漁業者や漁業

協同組合の負担金が一億九千九百九十九万九千九百九十九円、遊漁船業者協力金が一千八百八十六万六千円、マダイ協力金が七百四十三万九千九百九十九円、アワビの種苗生産事業費が四千九百三十五万六千円、ヒラメやカサガサなどの種苗生産事業費が二千八百八十七万八千円、管理費が千六百七十二万五千円でした。

貸借対照表および正味財産増減計算書を確認したいときはホームページhttp://www.kanagawa-sai.or.jpをご覧ください。

事業活動支出の内訳は、マダイ資源増大促進事業費二千四百三十八万二千円、ヒラメ資源増大促進事業費が五百三十三万四千

二十四年度 神奈川県水産課

主要施策・当初予算説明会

神奈川県水産課は四月十七日に平成二十四年度主要施策および当初予算説明会を開催しました。漁



神奈川県主要施策・予算説明会

業系統団体幹部、市町の担当職員ら七十五人が出席し、県の各担当職員から取り組む事業などについて説明を受けました。冒頭、鶴飼俊行水産課長は「県の財政事情は非常に厳しいが、行政・研究・指導部門が一丸となり県下水産振興のための施策に取り組めます」とあいさつしました。

また、当協会の今井利為専務は「マダイ栽培漁業の現状と課題」について説明しました。

四月一日付け 神奈川県人事異動
水産課・水産技術センターの主な人事異動は次の通り。カッコ内は前職です。(敬称略)

土地水資源対策課リーダー(加藤誠一)▽水産環境部主任研究員(水産課水産指導主査)山本貴一▽栽培技術部主任研究員(資源環境部主任研究員)岡部久▽相模湾試験場主任研究員(内水面試験場主任研究員)相澤康

平成二十三年度まで配布してきたアワビ種苗単価(消費税抜き)を平成二十四年度から電気料金の値上げなどで単価を改定せざるを得ない状況になりました(表)。

アワビ種苗単価値上げのお願い

Table with 3 columns: 殻長(mm), 旧単価(円), 新単価(円). Rows for 25, 30, and 50mm shell sizes.

関係漁業協同組合と組合員の皆さまのご理解を願ひ申し上げます。

俺は地球人
「オイ、マグロ船ッ、日本で国、経済大国とかいってさ、白人の仲間になったつもりで、肩で風切っているけどな。俺らが聞き知っている限り、アジア、アフリカで日本人のことを良く言う奴は少な

だ。じゃあ、モンスターとかモンスターとか、そんな陰口をきかれてんだぜ。このままだと、そのうち、日本という国消えてなくなるかも知れねえぜ。だってよ、手前えの国に誇りが持たず、白人、なんて言われて喜んでるような国がさ、この先栄えてゆく筈ねえもんな」

Table of Income (収入) with columns for Item (科目) and Amount (金額). Items include Basic Asset Income, Business Income, etc.

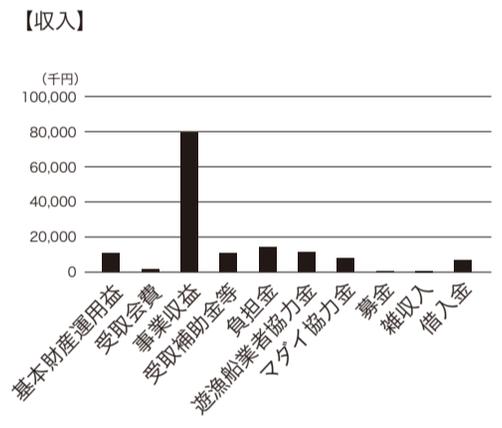
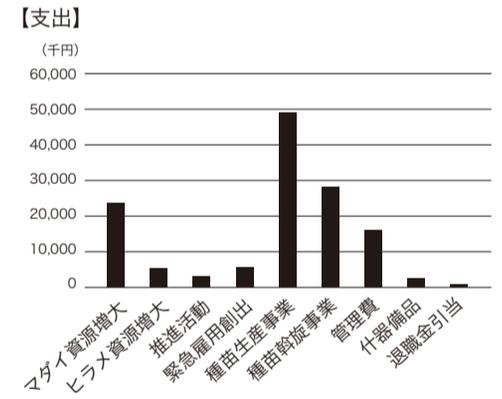


Table of Expenses (支出) with columns for Item (科目) and Amount (金額). Items include Mackerel Resource Increase, Promotion Activities, etc.



まぐろ千夜一夜 続 艦のオンチャン航海記 第16話 国棄て

「前号までのあらすじ：会社を飛び出し、義父の仕事の共同経営者に。そのGさんに一緒にのんびり暮らさないかと誘われる」
「僕はしばらくケープタウンに出張してただけだね。ご存知のとおり、あの国の人種差別は非道いもんと聞いていたんだが、いや、実際行ってみて驚いてしまったねえ。ホテル、レストラン、バスや公園まで白人専用があって、非白人と厳しく区別しているんだ。非白人というのは黒人、カラード(混血)、インド人、中国人、その他全ての有色人種さ。ところが我が日本人は違うんだ。日本人は白人という事で、白人と同じ扱いを受けるんだから、気分がいいよな」と如何にも得意満面なんだぜ。
「お愛さ余って憎さ百倍
俺は、髭のオッサンの話しを聞きながら、「この男は日本が嫌いじゃないやな、いや、むしろその反対で、好きで好きでたまらん。その思いが、日本を棄てるというまるまる反対の行動を取らせたのや」と思いましたなあ。言うやないですか、『可愛さ余って憎さ百倍』と。」

※艦のオンチャンとは この本の副題となっている「艦のオンチャン」とは、永いことマグロ船で船方として働き、年を取っても、未だに現役として乗り続けている年寄りのことです。

マサバ資源回復の兆しか

伊豆諸島海域で漁場拡大
相模湾ではブリが豊漁に

今年一月から始まった伊豆諸島近海漁場でのサバたもすくい網漁業は、マサバの漁獲が顕著でしかも資源が多いためか漁場が拡大するなど、「資源回復の兆しか」という声がかかります。また、今年の相模湾ではブリが大漁になるといふ明るい話題もありました。



マサバ主体の水揚げ

長い間、単価の安いゴマサバしか獲れなかったマサバが、伊豆諸島周辺海域で、マサバが漁獲されたのは、昭和五十四年以来二十八年ぶりの平成十九年でした。

その後もマサバの漁獲は続き、平成二十三年の千葉、神奈川、静岡県、サバたもすくい網漁船によるマサバの漁獲の合計は二千五百五十八トン(二十二年は八百九十一トン)でした。今年になってもマサバの水揚げは続いています。



水技センター業績発表会

神奈川県水産技術センター「第二回神奈川県水産技術センター実績発表会」を開きました。漁業団体幹部、市の担当職員、水産研究者など六十人が出席、冒頭、米山健所長は「センターでは、海・川・湖の漁業振興、漁場環境保護、普及活動などを行っており、その研究成果など

二、三年前から神奈川県の新しい海藻資源として注目されたのがアカモクです。健康食品としても関心が高いことから県下各地の漁業者は、乾燥、冷凍などの商品開発に積極的に取り組んでいます。神奈川県漁連では、「アカモクのふりかけ」まで販売し始めています。

アカモクの商品化に積極的な県下漁業者

漁業者が生産を始めたアカモク商品は、軍艦巻きにして客に食べさせたり、県下沿岸各地の食堂では「あかもく丼」を提供する店が多くなっており、「ねばねばシャキシャキ」した食感が客から喜ばれているそうで、神奈川の名物になるかも知れません。

に認定してもらおうように申請し、承認されました。アカモクは体に良いといわれるフコダインの含有量がメカブの3〜5倍で、ミネラルや食物繊維も多く含まれています。

博しているそうです。このようにアカモクの商品化に積極的に取り組んだ漁業者の中には、アカモクの刻み加工処理のためミートチョッパーを導入する人も出てきました。鎌倉漁協では新名産品「鎌倉のアカモク」をかながわブランド

ないそうです。また、漁協の朝市などイベントなどで漁業者が試食・直売を行うケースが増えています。いずれも来場者から好評を博しているそうです。

厚生労働大臣賞を受賞した
まぐろづくし & ちらし弁当



栄養満点弁当

第十二回全国中学生創造ものづくり教育フェア「あなたのためのお弁当コンクール」全国大会で、横須賀市立長井中学校家政部の「まぐろづくし & ちらしの栄養満点弁当」が二位に入賞、厚生労働大臣賞を獲得しました。魚を使うのが条件だったので三崎のマグロを主食材に、マグロの子(卵)などの食材を活かした弁当でした。

省エネ・省スペースの
新型波板洗浄機を導入



新型波板洗浄機活躍

アワビ、サザエ、トコブシの種苗の幼生は、餌の珪藻を付着させた波板に定着させ三〜四ヶ月間飼育します。使用後、波板をきれいにするための機械が老朽化したため、協会では新しい洗浄機を導入しました。新型はコンパクトで部品の取り換えなどが簡単に行え、種苗生産の効率を上げられるものと期待しています。

協会の種苗供給事業でヒラメ稚魚放流
日釣振が長井町地先の海に5千尾を

日本釣振興会は五月十九日、当協会の種苗供給事業で、横須賀市長井町地先に五千尾のヒラメ種苗を放流しました。愛知県から活魚運搬車で運ばれてきた体長六〜七センチ



のヒラメ稚魚で、午前八時過ぎ、四千尾を小田和湾に放流したあと、千尾が荒崎海岸・なんやの浜で小さな子どもたちが放流しました。この日は、午前9時から、地元地域の未来を考える会(会長・小澤紳一郎)が「荒崎海岸クリーンフェスタ2012」を開

さいばい漁業って何

公認団体
神奈川県栽培漁業協会
専務理事 今井利為

アワビの料理

アワビの代表的な料理はなんと刺身です。クロアワビ、エゾアワビは身が硬く、コリコリとした食感を好む人に向いています。

余り硬いものは敬遠しますと言う方には、マダカアワビ、メガイアワビがお勧めです。

夏に氷の器に賽の目に切ったアワビを水氷に浮かべた水貝は、こりこりとした食感を楽しめます。よく、水貝には貝貝を用いるとされていますが、クロアワビ、エゾアワビが使われています。

アワビの美味しさを思う食方法は、裸潜りの漁師が船に上がって休息する時、暖をとるため、松の薪を燃やしている囲炉裏があり、そこにアワビを貝殻ごと焼き、火が通ったかどうかぐらいの状態まで海水に漬けて、かぶりつくのが最高です。

エゾアワビは、干鮑として中華料理にして味わうとまた違った味わいがあります。

アワビは海で獲れるものですが、内陸の甲府で「煮貝」としてアワビが名物として有名です。このアワビは江戸時代駿河から醤油に漬けて運び味変わったことが始まりです。アワビの成分は、高たんぱく、低カロリーの食

材です。たんぱく質には、コラーゲンなどの硬さ。肉が固いため、肉が固い。鉄、亜鉛、リンなどのミネラル、ビタミンB群、Eなどを含みます。

放流の効果
放流したアワビがどのくらいの数、漁獲されたかを調べることは、放流事業を評価する上でどうしても必要です。

次に漁師が水揚げしてきたアワビを種別に殻径を計測します。この計測値からアワビの年齢組成を求めます。

また、それぞれの種ごとに人工種苗の特徴である貝殻のグリーンマーク比率を求めます。これらの数値を使って、何年に放流したアワビが何個漁獲されたかが分かります。

漁獲された数を放流数で割ると回収率と言う数値が求められます。

今までは神奈川県で放流事業の全体で見ると、神奈川県でのアワビ漁獲量は、平成十六〜十七年に二十トン前後で推移しています。

城ヶ島、長井町で水揚げされているアワビの九十パーセントが放流貝であることが調査結果がありますので、十八トンが放流貝であると計算されます。

また、回収したアワビの漁獲金額と種苗放流に要した経費を比較して下さい。

また、回収したアワビの漁獲金額と種苗放流に要した経費を比較して下さい。

(つづく)

